

経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県 八百津町

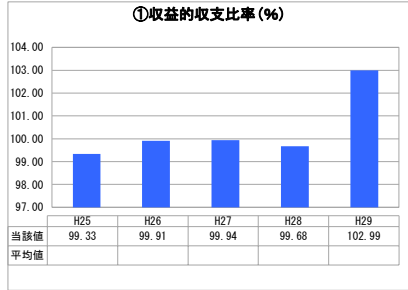
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	8.39	88.86	3,132

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,252	128.79	87.37
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
934	2.12	440.57

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



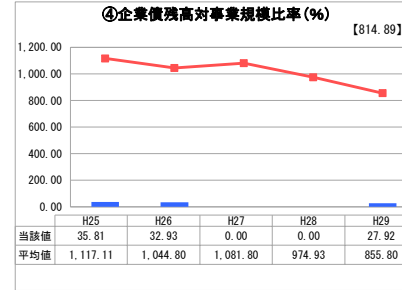
「単年度の収支」



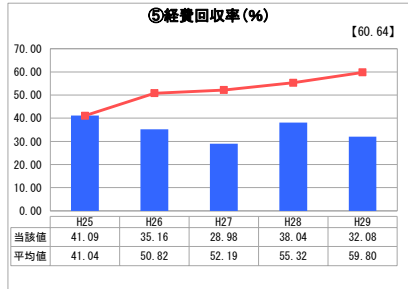
「累積欠損」



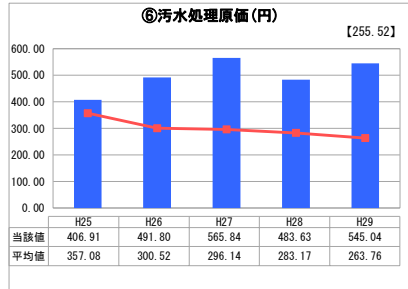
「支払能力」



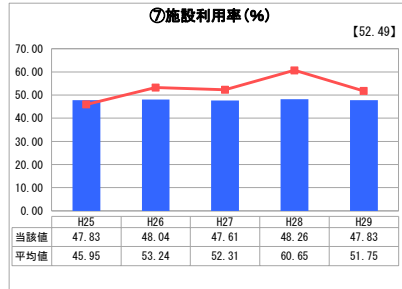
「債務残高」



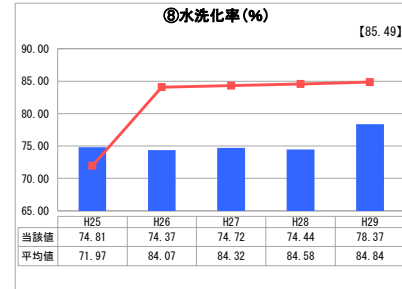
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

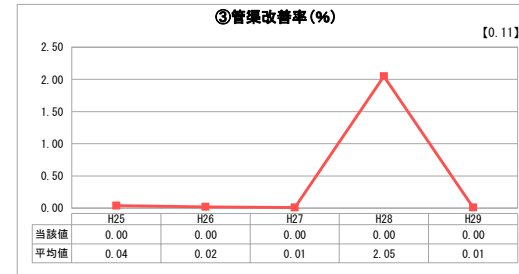
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は高い数値を維持していますが、一般会計からの基準内・外の繰入金によるものであり、経費回収率は32.08%と低く使用料収益のみでの運営は難しいと言えます。
 ②汚水処理原価は平均値と比べ倍近い数値が続いていますが、2つある農業集落排水の一つの久田見農業集落排水は山間部に位置しており、処理方法の検討や、下水道との接続は困難と言えます。
 ③下水道接続人口台帳の見直しにより増加。（人口減少（未接続者の減少）による接続率の増加も多少あると思われる。）

2. 老朽化の状況について

上飯田地区は平成12年、久田見地区は平成14年に汚水処理の供用を開始しました。今年度、最適整備構想を策定し、計画的に施設等の更新を行い安定したサービスを提供します。

全体総括

一般会計からの繰入金に頼っている面が大きく、健全な経営状況とは言えません。人口減少等により料金収入も減少の傾向にあり、逆に管路や施設等の更新・修繕は増の傾向にあり厳しい状況が続くと考えられます。これを踏まえ、平成31年度からの法適化による経営状況の「見える化」を図り正確に経営状況を把握し、経営戦略を再度策定します。その結果から、料金改定を含めた経営の見直しを行う予定です。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。